

JICAでは、日本のNGO等が抱える「困った!」を解決するための制度や、「学びたい!」に応えるための研修メニューを用意しています。

メニュー 1

国際協力担当者のためのPCMを活用したプロジェクト運営基礎セミナー

開発プロジェクトの計画、モニタリング、評価に用いられる手法である、PCM (Project Cycle Management) の基礎講座を全国各地で実施します。PCMは、JICA草の根技術協力事業の案件形成や実施状況の確認などにも活用されています。

- 計画・立案コース (2日間)
- モニタリング・評価コース (2日間)

2015年5月～2016年2月
日本のどこかで毎月開催中?!
詳しくは、ウェブサイトをご確認下さい。

メニュー 2

NGO向けアドバイザー派遣制度

専門分野の知見をもったアドバイザーを、NGOの日本国内の事務所或いは海外の活動現場に派遣し、団体が抱える課題の解決に向けて、それぞれの状況に応じた必要な助言や指導を行います。なお、指導期間は最大20日間となります。

- NGO組織強化のための国内アドバイザー派遣
指導分野：経理・会計、広報・支援者拡大、組織運営・その他
- NGO活動強化のための海外アドバイザー派遣
指導分野：事業マネジメント、技術アドバイス

2015年の申込締切りは、あと1回!
11月15日 (国内派遣のみ)
詳しくは、ウェブサイトをご確認下さい。

メニュー 3

地域提案型NGO組織力アップ! 研修

特に地域のNGOが抱える特有の課題などへ細やかに対応するため、NGO向けの研修やネットワークの構築に関して実績があるNGO等から研修のアイデアや運営協力を得ながら、それぞれの地域で研修を実施します。

※2007～2013年度まで、NGOスタッフ自身による組織課題の解決や機能強化を目的に、首都圏での集合型で実施してきた「組織力アップ! NGO人材育成研修」は、2015年度より本研修に一本化しました。

あの地域でもこの地域でも、開催!
詳しい内容やスケジュールは、
決定次第ウェブサイトでご案内します。

- NGO向け研修紹介ページ -

<http://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/ngo/index.html>



◆ 国際協力NGO向け研修お問合せ先

独立行政法人国際協力機構 (JICA) 東京国際センター NGO研修担当
〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5
TEL : 03-3485-7109 / E-mail : jicajgp-kenshu@jica.go.jp





事例1

国際協力担当者のためのPCMを活用したプロジェクト運営基礎セミナー

「計画・立案コース」では、PCMの概要説明と各ステップ（関係者分析、問題分析、目的分析、プロジェクト選択、PDM＝プロジェクト・デザイン・マトリックス（計画概要）表作成）における講義とグループワークによる演習を行います。もう一方の「モニタリング・評価コース」は、「計画・立案コース」を受講済みであることを前提とし、プロジェクト事例を用いて、モニタリング及び評価を適正に実施するための講義とグループワークによる演習を行います。

■ 参加者の声・・・

- ▶ 講義だけではなく演習もあるので、効果的に理解することが出来た。
- ▶ グループワークを通じて、関係者間の合意を作ることの難しさと同時に、納得のいくプロジェクトとするために時間をかけた議論の重要性を身をもって体験できた。
- ▶ 様々な知識、経験を持つ参加者間で意見交換できたことも学びとなった。

事例2

NGO組織強化のための国内アドバイザー派遣（広報・支援者拡大分野）

その団体では、団体の活動を外部へ伝える主な手段がメールニュースに記載する文章しかなく、もっと多くの支援を得るためには、現場のリアリティを伝え、活動に共感してもらえるような広報が必要ではないか？という問題意識を持っていました。

■ この課題に対して・・・

- ▶ アートやまちづくり事業に関わっているクリエイターを、アドバイザーとして派遣しました。
- ▶ アドバイザーには、効果的な情報発信を行うための様々な助言をしてもらいました。更に、元々団体で行われていた活動現場を映像撮影する技術と、広報ツールとして具体的に活用するための指導を行ってもらいました。

■ アドバイザー派遣の結果・・・

- ▶ 国内・海外の全スタッフが広報ツールとして効果的な映像（写真、動画等）の撮影方法を学びました。更に、各自の担当事業を通じて実践を重ねることによって、団体広報の全体の質が向上しています。
- ▶ 撮影した映像は、団体のFacebookや講演会で活用され、Facebookにおいてはページ登録者数（「いいね！」数）が倍増しました。
- ▶ アドバイザー派遣直後の募金キャンペーンでは、新規寄付者も増加したという報告がありました。

事例3

地域提案型NGO組織力アップ！研修（旧称・NGO人材育成研修：地域NGO提案型研修）

中部地域のネットワーク型NGOである（特活）名古屋NGOセンターと協力し、「現場で必要とされるプロジェクトを作るための研修」というタイトルで、全4回コースで対話型ファシリテーションの方法論を学ぶ研修を名古屋市内にて実施。中部地域に拠点を置くNGOから、25団体35名の方に受講いただきました。

■ 研修の内容・・・

- ▶ 第1回目：対話型ファシリテーション（事実質問）の理論。
- ▶ 第2回目：実際の支援現場での失敗例を題材に、対話型ファシリテーションを用いたニーズ導き出しのトレーニング。
- ▶ 第3回目：現地NGOのスタッフ経験がある海外ゲストへの対話型ファシリテーションを通じた、現場ニーズのシュミレーションと仮想アクションプランの立案。
- ▶ 第4回目：振り返りと受講者間の学びや気づきの共有。

■ 参加者の声・・・

- ▶ 今回の研修で学んだことはNGO活動だけではなく、企業や個人のレベルでも十分に応用展開できる技術だと考えています。この経験を活かし現場の意見を吸い上げてプロジェクトを創出、改善していきたいと思えます。
- ▶ 対話型ファシリテーション（事実質問）の技術や考え方は言うに及ばず、海外NGOスタッフや、経験者の体験を直接聞いたことも大いに参考になりました。
- ▶ 自団体にとって今何が必要で、何が問題なのか、客観的に見ることができました。
- ▶ 今回のような地域NGOスタッフ向け研修は、中部地域では唯一の研修であり、地域NGOの質を高めるためには大変重要であるから、ぜひ継続して頂きたいと思えます。

※当該年度はこの他に関西、九州でもそれぞれの地域から寄せられたアイディアに基づいて研修を実施しました。

